



夏から秋にかけての PTA事業

今年の夏の暑さは格別で10月の上旬まで長く続きました。その中を色々な奉仕作業や行事にご参加くださいまして誠にありがとうございました。

日々、子供達の成長ぶりには、驚かされます。

これも、先生方や保護者の皆様や地域の方々に見守られているおかげです。そして中仙小学校もいっしょに成長している感じがします。

今回は、いろいろな方々に自分が子供の頃の様子や子育てについて考えをのべてもらいました。参考にして下さい。

そして、今年も残りわずか、力ゼ等に気をつけ良いお正月をお迎え下さい。



10月21日／学年対抗親善球技大会（1位 3年・2位 6年・3位 5年）



9月17日／学習発表会
チャリティバザーの
企画＊運営



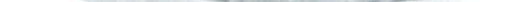
9月17日／学習発表会
食販部門の企画＊運営



歌声に感動



学習発表会



自分の子供時代を振り返って

秋山由紀子

私の小学生時代は今の子供達と比べてゆとりがあったと思う。学校帰りに友達と秘密基地で遊んだり、堰でどじょうを獲つたり、家で飼っていた山羊や兔を世話をしたり、草花の種子を集めたりなど様々な事をしていた。今の子供達にはこんな遊びをするゆとりがあまりない気がする。近年は子供を狙った事件が多く、熊の出没などで遊びや睡眠、家族との団らんの時間が少ないので感じられます。もっとのびのびと安心して子供が育つていけたらな…と願つてゐるが…。

そんな中、数日前近所を子供達が久々に走り回る姿を見て少しホッとした。そして、自分が育った三十年近くも昔の様子がなつかしく、幸せな時だったと改めて感じさせられました。



我が家の子育て

高田進

いきなりではあります、我が家子育てについて書かせて頂きたいと思います。

日頃から子供たちに言っている事は、誰にでも元気に挨拶しなさいと言う事です。挨拶は礼儀の基本で、人のつながりの源です。元気で明るい挨拶は友達の輪を広げ互いの信頼を深めることができます。

実際にわが子ができるのか…。天気の良い日、家の近所を自転車で一緒に走った時前を走っていた娘が、元気に近所の人たちや知らない人達にまで元気にあいさつをしてくれていたのを見て、私自身温かい気持ちになつたことがありました。日頃からの先生たちや周りの方々のご指導のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、「元気に挨拶」をモットーに子供たちの成長を見守つていきたいと思っています。



全員の心ひとつ



がんばりました!! 9月17日



子育て法

富岡 正起

子育ては、とても長い時間がかかります。理想論などとはかけ離れた人間の生活だと思うので、あまり無理はない、きれいことは言わないようになっています。

どんなに一生懸命育てても、何らかの問題はあるわけで、完璧な子育ては存在しません。子供が親に一生懸命育ててもらった事をわかつている事が大事だと思っています。

子供をよく観察して、子育て法が自分達親子に合っているかどうかを考える事を大切にしています。どんな良い方法でも、子供に合わなければお互い苦しくなつてしまします。家族が苦しくなく、ほどほどに泣いたり笑つたりできるくらいの生活の中で育ててあげるのが一番自然ではないかと思います。

完璧な親になるのではなく、寛容な親になる事をお勧めします。

私が小学生の時と比べて 今の小学生は…

福山弘毅

今の小学生は、時間に追われ、家庭で過ごす時間が少なく大変だなと思います。

私が小学生の時は、こんなに忙しかった記憶はあります。帰宅すると、田んぼや空地、雨が降ると誰かの家へ集まり遊んでいた。休校日も、大会や練習試合等が今ほどなく、家族と一緒に過ごしていたような気がします。

確かに、土曜日半日出校の違いがありますが、教育方針が変わったり、スポーツ単位の活動となり多様化したりと大人の都合に振り回されていると感じます。

そんな中で、中仙小の児童がまだ救われているのは、先生方の熱心な指導と、地域住民や保護者等の温かい目があることです。児童も、人懐っこく、この前は、秋の味覚を拾い合うほほえましい光景を見ることができます。このような事がある限り、目まぐるしく変化する社会でも、時間に追われる生活でも、中仙小の児童は、乗り遅れる事なく頑張って行けるでしょう。

4年部

今年の四年部のレクリエーションは九月二十三日、学校を借りて肝だめし大会を行いました。当日は猛暑の中、たくさんの参加者に来ていただきました。肝だめしがスタートすると校舎のあちこちから悲鳴が聞こえ、待っている児童も恐怖感が高まりソワソワしていました。幽霊役のお父さんたちもはりきっておどかしてくれました。中には怖すぎて途中でリタイアする子や泣いてしまう子もいましたが最後には無事、笑顔で終えることができました。

役員の皆様方にはお忙しい中、話し合いや当日の準備に時間を割いていただきありがとうございます。保護者の皆様、先生、ご協力ありがとうございました。



5年部

五年部の親子レクリエーションは、「八
一ム対抗三連発」と題してドッジボール
き氷を食べました。だまつていても汗が
猛暑の中、参加してくれた親子に感謝し
敏に逃げ回る子、俺によこせとばかりにボー
ルに向かっていく子、親よりも強烈なボール
を投げる子など、元気な子供達の姿に圧倒さ
れると共に成長を感じました。試合を終えて
食べたかき氷は格別においしく、何度もおか
わりしたり、いろんな味をミックスして舌を
虹色にしたり、笑いありの楽しいひとときで
した。



編・集・後・記

雪も降って、冬本番になりました。
雪が降って喜ぶのは、犬と子供達だけ
でしょうか？

毎年のことながら、雪よせは大変な重労働でイヤになってしまふ。

あります。

寒さに負けず温かい
物を食べて、この冬
を乗り切りましょう



おもしれがつたな 学年レクリエーション

6年部

九月二十九日に六年部の親子レクリエーション夕食会
きもだめしが行われ、七十名の参加者で賑やかに行いました。
「夜の学校」をはじめて体験したぐんぐん学年のみなさん
貴重な体験ができたのではないでしようか。笑い・悲鳴・
涙ありの楽しい親子レクリエーションで
した。最高学年を迎える心も体も大人にな
りつつあるぐんぐん学年の皆さん成長
を観ることができました。また最後の六
年生による歌のサプライズにも感動させ
られました。(うまがつたぞ!)

学年役員・保護者の皆様には準備・打
ち合わせ等でご協力いただきありがとうございました。





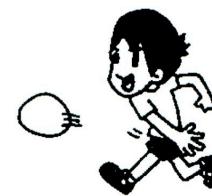
1年部

一学年の学年レクリエーションは、十月七日（日）にドッジボールを開催しました。親子混合チームが四つに分かれ、総当たり形式でゲームを行い、各チームが優勝を競いました。

幸い、けが人もなく、楽しくレクリエーションを終えることが出来たことは、保護者の方々のご協力が全てのことだと思います。

子供達も、保護者の方々と一緒に試合をすることが出来たことで、普段以上に楽しんでくれているように見えました。

これから卒業までの六年間、みんなで協力し合い、学年を盛り上げていきましょう!!



2年部

木々が色濃くなる六月、学年レクリエーション、「親子で遊び体験」をさせて頂きました。神岡公園での遊びを予定しておりましたが、悪天候の為改善センターに場所を移しての開催となりました。日々お忙しい親御さん方もこの日ばかりは我が子との楽しい時間を過ごして頂けたように感じます。親子でボール遊び、一番の難関バットでグルグル親子でゴー!! (回った後はふらふら:ごろんつと転がる美味しい場面も★)

日頃、企画運営にご協力を頂いている役員の方々、全ての保護者の方々に感謝させて頂くと共に今年度残り少ない一日一日を優しく温かな心をもつ子供達に育ちますように、保護者の方々の御協力を頂き、日々努めさせて頂きます。ありがとうございます。





3年部

3年部は九月三十日に体育館で出来るカーリング（ユニカール）をしました。役員にだれも経験者がおらず、ルールもわからないまま準備を進めていましたが、多数の方々（九十六名）に参加していただきました。三人一組でトーナメント戦で試合をしましたが力の加減が難しく、的に届かなかつたり行き過ぎてしまつたり悲戦苦闘しましたが、皆んな楽しくプレーをする事が出来ました。試合後お弁当を食べ表彰式を行いました。優勝はなんと菅原先生チームでした。当日は準備不足等ありバタバタした場面もありましたが、皆様のご協力のおかげで無事終了する事が出来ました。ありがとうございます。



部長
佐藤
修

佐々木 克巳

海外赴任の経験から

3年間、家族全員で中華人民共和国上海市に赴任し、今年度戻って参りました。そこで、感じたこととして、中国では、子ども連れの家族に対してはバスの席を率先して譲る、学習面ではスキルを高めることに関して日本以上に熱心であるなど、子どもに対して環境、教育が日本以上の国でした。

不易流行。中国で見た子どもを育てる上で大切な不易の部分を忘れず、流行に関して考える時期に立っていると感じます。学校行事、PTA活動などにおいて、何のために、何の活動をするのか、今までの運営の仕方で良いのかを考えることが大切であると思います。日々、忙しい毎日ですが、立ち止まって考えることも必要かもしれません。